

高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科：保健体育科 目：保健単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1 組：椎名）（2 組：山崎）（3 組：椎名）（4 組：山崎）（5 組：椎名）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 保健の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

1学期

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりできるようにする。 思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組ませる。	・指導事項 1. ライフステージと健康 2. 思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択 4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人工妊娠中絶 ・教材 教科書、授業プリント 一人1 台端末の活用	【知識・技能】 生涯の各段階においては、健康にかかわる様々な課題や特徴がある。生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	A 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりできるようにする。 思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組ませる。	・指導事項 6. 結婚生活と健康 7. 中高年期と健康 8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康 10. 健康的な職業生活 ・教材 教科書、授業プリント 一人1 台端末の活用	【知識・技能】 生涯の各段階においては、健康にかかわる様々な課題や特徴がある。生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2 学 期	B 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組めるようにする。	・指導事項 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁、土壌汚染と健康 3. 環境と健康にかかわる対策 4. ごみの処理と上下水道の整備 5. 食品の安全性 6. 食品衛生にかかわる活動 7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用 9. 医薬品の制度とその活用 ・教材 教科書、授業プリント 一人1台端末の活用	【知識・技能】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を理解している。 【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりについて、環境を整備しそれを活用する上で、課題を発見し様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加などについて、理解を深めるとともに解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりに関する学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	B 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組めるようにする。	・指導事項 10. さまざまな保健活動や社会的対策 11. 健康に関する環境づくりと社会参加 22. 心肺蘇生法 ・教材 教科書、授業プリント 一人1台端末の活用	【知識・技能】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を理解している。 【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりについて、環境を整備しそれを活用する上で、課題を発見し様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加などについて、理解を深めるとともに解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりに関する学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計
							35